



野村 勝憲 議員

「地域創生2.0」の取り組み

2月「地方創生」「防災」をテーマに石破総理、橘官房副長官、衆参3議員の国会事務所と内閣官房、経産省、東濃5市等訪問。得た知見を参考に①飛騨市版地方創生2.0②産官学の地方移転と創生③新年度の地方創生交付金と官民での推進プロジェクトを問う。

答 弁 ①第2期飛騨市総合政策指針と符号②市の重点施策は移住・定住促進③交付金は積極的に活用し、4地域共官民連携実現しつつある。

持続可能な「観光地域づくり」について

市長は「観光を1丁目1番地に人と金を取り込む」と公約し祭会館やご当地映画等に大金投入。その成果は出ず閉店が続き、観光客は年間100万人前後。同じ飛騨なのにロケツーリズム等出費

0円の白川村200万人高山市400万人超えの賑わいで稼ぐ観光地となり対照的①新たな攻めの観光戦略が必要②3年後観光客150万人宿泊客15万人を目標に③白川郷と飛越の交流促進。

答 弁 ①令和3年「飛騨市観光基本戦略」を策定。新観光戦略は不要。②目標値は掲げるべきでない。③各々と広域連携は実施している。

大学基金と若宮駐車場の土地交換について

数河産廃阻止の質問より多い過去最多の傍聴者を背に①ふるさと納税2.5億円宮城町が前提で街中キャンパスなら不要。②スーパーは消え、ホテルと大学等三転四転。交換は事業決定後③気多より若宮が坪4万円高いが相場。1.3億円の新トイレと消防器具庫の設計・配置誰が許可。

答 弁 ①宮城町の市道整備に1,370万円。残金2.6億円は大学設立基金へ②大きく逸脱しておらず、予定通り進める③市は設計段階から参加。

YouTube ▶



高原 邦子 議員

期日前投票所は移動式も取り入れたらどうか

この一年間で3度の選挙があり、人手も少ない中、管理も苦慮しているのは理解するが、もう少し市民の現状に心を寄せた取り組みはできないものか…①選挙管理への考え方は②移動式期日前投票所についての考えは③市の施策に「変革」を唱えるのなら選挙管理についての変革とは

答 弁 ①過去の日により時間帯別の投票状況等を考慮し、人員確保に苦慮している状況に鑑み、期日前投票は古川町を除いて短縮した。②③弱い立場の方々に配慮し、実施している和光園・吉城特別支援学校・市内の高校への期日前投票所に加え、参議院選にむけて「おでかけ投票所」の取り組みを模索している。

八潮市の陥没事故から老朽化しているインフラ設備の維持管理は重要

日本全国、老朽化したインフラの更新等が言われている。災害時の復旧や大事故につながる前に対処は必要である。①下水道管の点検結果は②水道管の老朽化による水質汚濁は大丈夫か③側溝の漏水は、家屋の傾きや倒壊にもつながることがあるが対策は④大雪だった今冬、人手不足は除雪オペレーター確保にも対策は

答 弁 ①令和6年9月から12月にかけてカメラ調査をし、事故後の緊急点検は目視・道路陥没の変状調査で異常なし②水質汚濁はないが適正な維持管理と計画的な更新を進める。③ひび割れ漏水等の不具合を発見した際は緊急性・安全性に考慮し、優先順位をつけ補修、改良工事を実施している④オペレーターの人材確保のためには国・県・市内全域の事業者・各種団体・企業と協議を進め対応策の検討を進める。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



中田 利昭 議員

飛騨市DX推進計画の進捗状況と課題について

①DXとは？②進捗状況は？③AIの活用は？
④市独自の開発は？

答 弁 ①デジタルトランスフォーメーションの略でデジタル技術を活用し、より効率的で質の高いサービスの実現を目指す。具体的には、行政手続きのオンライン化、業務改革の推進、テレワークの推進、デジタルデバйд対策等である②書かない窓口は既に運用開始しており、行かない市役所においては一部郵便局での交付、デジタル仮想空間を利用した相談業務や手続き案内の実証実験、電子申請フォームを利用した各種手続きの事前予約、アプリを利用した電子通知など実施。情報格差については市民向けスマホ利用講座を実施しており、すでにのべ35名の参加者があった。

③AIの活用はDXにおいて重要な要素の一つ会議録システムなど運用開始している④すでに導入しており、100以上のアプリを開発運営している。

消防の救助体制と民間業者の活用について

①救助活動における民間業者の活用について
②民間業者を活用した場合の課題は？

答 弁 ①事案によっては消防の資機材よりスペックもスキルも高いことがある。対応不可能な時は民間業者に要請することも必要になると考える②指揮命令系統、安全確保、責任の所在、費用負担が課題。しかし現場で情報を共有し、協議し決定した活動方針で救助に当たればこれほど心強いことはない。それらを飛騨市、消防本部の責任の下で行えば大きな課題にはならないと考える。

YouTube ▶



森 要 議員

駅東開発に伴う駐車場等の交換について

本定例会に、若宮駐車場と新駐車場の土地・建物交換についての議案が上程されました。現在の若宮駐車場と同等以上の機能を持つ施設との交換が条件でありましたのでお伺いします。①交換に関する機能及び価値の確認の結果は。②隣接する施設との連携は。

答 弁 ①面積・駐車台数とも(株)東洋側が飛騨市側の面積等を上回ります。具体的には飛騨市側面積11,423.31㎡、(株)東洋側面積12,097.65㎡、飛騨市側駐車台数306台(普通・大型)、(株)東洋側346台(普通・大型・身障用)である。

建物についても、面積及び機能は(株)東洋側が上回っているほか、公衆トイレについては男女共にベビーチェアが設置され、女性用トイレには子

供用小便器も設置されている。消防用器具庫においては、土間コンクリート床部分の塗装や防火対策により、建具を襖からブラインドカーテンに変えるなど、新しい設備を設置しており、既存施設以上の機能で有ることを確認した。②隣接する施設及び飛騨市観光協会等継続的な情報交換ができるよう開発者に提案したい。

江崎知事の県政運営について

①江崎県政に期待すること、県と市町村の関わりは、どのようなのが理想と考えるか。

答 弁 ①今までは、県内各地域、特に市町村の連携が弱いと考えていた。江崎知事には市町村の現場の動き、政策との連携を深めていただくことを期待したい。県におねだりするとかの関係でなく、県と一緒に取り組みたいことをどんどんぶつけて一緒に考えて悩みながら連携して政策を作り上げていくという関係が理想と考えている。

YouTube ▶





小笠原 美保子 議員

吉城コンボの現状と課題について

①製品の品質について。②新年度予算での施策について。③今後の計画について。

答 弁 ①令和5年度からは堆肥製造に詳しい細菌学者の指導を受けながら臭気軽減と更なる高品質化に取り組み、一方で老朽化した攪拌機の更新に向け、臭気軽減が期待でき高品質堆肥の製造につなげられる攪拌機の機種選定を進めている。②令和7年度予算において県補助金も活用しながら攪拌機更新への助成を行い、家畜排せつ物等の管理の適正化と利用の促進を図るためソフト事業を計上している。③施設全体の老朽化が著しく、計画されている攪拌機の更新工事には約1カ月が見込まれており、関係者と協議しながら調整していく。

認知症でも安心なまちづくりのために

①認知症サポーターの活動と今後の計画について。②家族への支えになれるよう介護者へのサポートについて。③課題の多い若年性認知症の支援について。

答 弁 ①サポーターの知識やスキルを役立てたい方へ希望者対象にステップアップ講座があり、神岡町では市で飛騨圏域、第1号となるチームオレンジに認定しました。令和7年度はより多くの方を対象に講座を企画したい。②市内2カ所にある「ものわすれ相談窓口」を行い、介護者対象に介護座談会・研修会でサポートしている。今後さらにケアマネ、キャラバン、サポーター、行政がそれぞれの強みを生かし、連携強化していく。③具体的な取り組みに結びついていないのが現状。若年性認知症の方の自立支援は県が主体なため、近隣自治体と一緒に模索していきたいと考えている。

YouTube ▶



佐藤 克成 議員

ねりんピック岐阜の開催について

①飛騨市の負担金、財源について②大会参加者の宿泊・食事について

答 弁 ①本大会の開催に多額の事業費を要することから、県に対し財政的な、十分な支援を得ることを条件に承諾した。大会開催に係る経費は、飛騨市実行委員会への負担金6,356万円、その内県の補助金は総額4,000万円あまりで、市の真水の支出は2,300万円となる見込み。飛騨市だけの事情を考えれば、本大会の開催は本意ではないが、岐阜県の一員として大会の成功に向けて協力して取り組む。②大会参加者の宿泊食事の手配は県が委託する高山市の事業者により行われる。飛騨市内の宿泊施設だけでは受け入れが困難なことから、参加者の多くは高山市内に泊まることになる。

持続可能な飛騨市づくりについて

①市役所の産前休暇規定の見直しについて②市内事業者の産前休暇取得推進について

答 弁 ①令和7年4月から産前休暇の取得可能期間を出産予定日の8週間とする。②女性が安心して働くことができる職場環境を支援するため、女性社会進出促進補助金を用意しており、周知していく。

ごみの分別・減量化について

①ごみの分別の徹底について②可燃ごみの処理費用の個人負担割合について

答 弁 ①ごみのリサイクルや分別意識の向上のため、ごみ出し支援アプリ「さんあ〜る」など様々な場や情報媒体を活用していく。②ごみ処理手数料について、市民生活、市財政への影響等考慮して慎重に検討する必要がある。

YouTube ▶





水上 雅廣 議員

公共施設の整理統合などについて

風呂施設など20施設の経費削減等に対する考え方は。また、施設全般について広域での集約化や施設用途・管理区分変更の検討は。

答 弁 各地域に存在するすべての施設を支えることができない段階にきていることを、市民に理解いただきたい。民間譲渡を主に検討するが、廃止については急な対応とならないよう十分な配慮要すると考えている。施設の広域化については検討していない。また、これまで検討していなかった施設の連携によって、新たな付加価値を発見することも可能と考え、用途変更等について柔軟に検討する。

地域振興を考える上での組織支援について

条件不利地域の集落や地域に必要なのは、話し合い～計画の策定への取り組みに対する組織支援。そのことに専従で取り組める人材(外部人材)の確保と振興事務所への配置を検討されたい。

答 弁 新たな制度の活用も視野に地域課題の解決に市とともに取り組んでもらえる専門人材の確保にむけ取り組んでいく。

自転車道の整備について

観光を主とした、あるいは日常生活を主とした自転車道の整備計画は検討されないか。また自転車活用推進計画を策定する考えはないか

答 弁 観光として魅力的なルート設定ができるのであれば検討したい。また、日常における脱炭素・健康管理を目的に市の施策を拡充する必要があるれば関係機関と検討したい。推進計画の策定は市民ニーズや社会情勢を踏まえ必要性について関係部局と協議する。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

オーバーツーリズム対応は

オーバーツーリズムとは観光

地に多くの観光客が押し寄せ、街中の人混みや交通渋滞、トイレ不足といったインフラの問題、騒音やゴミの問題、環境破壊など、地域住民と観光客とのトラブルが挙げられる①訪日外国人マナー違反の対応は②インバウンドによるゴミ対策は③観光収益の地域内循環は④3市1村の観光客の分散化は

答 弁 ①外国人観光客はコロナ前を上回り過去最高となったが、マナー違反による苦情は無い。住民の町をきれいにする意識と相互扶助の精神で維持・保全がされている。②ゴミ箱の設置が、かえって街並みの価値や景観を下げる。状況を注視して行く。③市内関係団体との外国人観光客受け入れ意向を確認し外国人観光客の滞在時間延長に

取り組む。④引き続き隣接自治体で飛騨市の紹介を頂く連携を継続し、外国語サイトやSNS、各種メディアを活用し魅力発信に一層力を入れる。

住宅の火災報知器について

火災報知器は自身や家族を守るための大切な設備です。点検や交換が市民の皆さんに周知出来ているのか伺います。①作動試験・本体交換状況②火災報知器の設置状況は③高齢者住宅の点検方法④点検時や交換時の経費負担は。

答 弁 ①PRに努めているが、市民の方が認識されていない可能性もあるので公報の頻度や方法を変え公報をして行く。②飛騨市は全国平均、岐阜県平均より高い。③民生委員や関係機関と合同で点検指導も行っているが、今後、防災訓練や防災士による指導も有効な方法④経費負担は現在の所考えていない。点検は簡単にできること、交換も専門業者でなくてもできるが諸般の理由で出来ない場合消防署へ相談。 YouTube ▶





籠山 恵美子 議員

市の除雪対応策について

①除雪出動の判断と巡視（パトロール）は誰がおこない、巡視の責任所在はどこに。②除雪にあたり道路法と施行令をどれだけ順守しているか。除雪での区長の責任は市条例になく、責任義務は当然市にある。除雪対応に市は区長に依存し過ぎではないか。

答 弁 ①出動基準ありなしにかかわらず、どちらも市に責任がある。②各区長に多大な負担をかけていることは承知しているが、これまで区長からの苦情はない。これからも連携を密にしたい。

第Ⅱ期飛騨市総合政策指針と新年度予算

①「人口減少先進地」飛騨市の、持続可能な飛騨市のための「積極戦略」と「適応戦略」とは何か。②教育分野での最大の課題は、教育負担の重

圧ではないか。その解決策は義務教育の無償化である。指針5年間でどれだけ無償化に近づけるか伺う。現場のハラスメント対応の通報窓口、マニュアルは整備されているか。③ダイバーシティ(多様性)社会の実現に最も重要なのは何と考えるか。

答 弁 ①人口減を前提として、人口が減って起こる問題に対応するのが「適応戦略」で、弱者への支援策などが相当する。「積極戦略」は地域産業振興、雇用創出のことで、移住定住促進や飛騨市ファンクラブ、ヒダスケなどのことが相当する。②無償化は国主導で対応すべきと考えるが、無償化と言いながら一定割合が地方自治体の負担になってくる懸念がある。国の議論に目を光らせていく。③新年度から推進リーダーを認定、育成していく。特効薬はないが、人の意識を変えることなので、粘り強く市民に浸透するよう継続するということに尽きる。

YouTube ▶



前川 文博 議員

若宮駐車場の土地交換は？

①同等の交換基準とは。飛騨市で鑑定評価をする考えは？②駐車場移転に伴う上下水道管移設工事の工事基準の確認は？③飛騨古川駅東駐車場の名称は、駅東開発事業者と同じになる。混同する可能性もある。変更の考えは？

答 弁 ①駐車場は国交省の基準、市道は岐阜県の実地を適用し基準を確認した。建物も図面を確認し市が管理していく事に問題ないことを確認した。②工事中の現地立ち合いも実施。市の基準を満たすことを確認して接続する。③「上気多駐車場」にすると広大な地域の名称で、逆に誤解が発生する可能性がある。この意見を踏まえ今後検討していく。

旧神岡鉄道について？

①鉄道施設の今後について？②鉄道資産の維持管理費用について？③協力金の15億円について？④観光滞在時間について？

答 弁 ①今後も飛騨市の観光の一翼を担う大切な資源、これまでどおり維持、活用していく。②自主事業に伴う費用は負担を依頼することもある。③15億円は全て鉄道資産のハード面の対策に充てる基金。④商工会議所の協力のもと大手旅行業者から具体的な旅行商品の提案がある。催行につながるように調整をすすめていく。

各種委員の報酬や費用弁償について？

①時間計算で最低賃金以下の委員もいる。報酬の見直しの考えは？②1 km 20円の自家用車使用に対する費用弁償を見直す考えは？

答 弁 ①報酬が著しく少額との認識。R7で点検、R8から施行の改正を予定。②市の実情に合った支給方法をR7に検討、R8以降の適用で考えている。

YouTube ▶

